

1 肘窩採血に関する調査

2
3 ○伊藤展枝(東邦大学理学部) 眞々田賢司(千葉大学
4 医学部附属病院) 宮鍋寛(国保松戸市立病院) 横田
5 浩充(東京大学医学部附属病院) 萩原三千男(東京医
6 科歯科大学医学部附属病院) 佐藤恵美香(埼玉県立
7 大学保健医療福祉学部) 五味敏昭(埼玉県立大学保
8 健医療福祉学部)

9
10 **【目的】**

11 外来で検査ための採血は検査技師が行う日常的な医
12 療行為である。肘窩採血部位についての現状や問題
13 点を理解するためにアンケート調査を行った。

14 **【対象および方法】**

15 対象は、臨床検査技師 111 名 (14 施設) である。採
16 血実施頻度、採血部位の選択、刺入する角度と長さ、
17 採血における合併症等の 9 項目について選択式およ
18 び自由記述方式で実施した。

19 **【結果】**

- 20 1. 肘窩の採血部位の選択は、正中が最も多く 96 名
21 (86%) であった。
22 2. 穿刺の角度は 20 度が 54 名 (49%) と最も多く、
23 針の刺入の深さは 5~10mm が 36 名 (32%) で最も
24 多かった。
25 3. 採血の合併症報告は 60 名 (55%) が聞いた事があ
26 るか、または経験があった。

27 **【まとめ】**

28 今回のアンケート調査の結果では、どの施設でも安
29 全に配慮して採血が行われているが、多くの臨床検
30 査技師が採血に伴う合併症を聞いたり経験している。
31 ガイドラインの改訂に際しても合併症の対応につい
32 て盛り込まれているが、解剖学的教育や安全管理の
33 徹底が必要であると考えられる。

34 (047-472-5065)

35
36
37
38
39